

祖先の知恵を受け継ぐ大城小

校長 根釜 恵理子

1月末から2月にかけてヒカンザクラや菜の花が咲きほこり、寒さの中にも春の訪れを感じる日々です。



さて、1月22日・23日に実施した黒糖づくりを通じて、本校のキャッチフレーズである「祖先の知恵を受け継ぐ大城小」を実感しました。1日目のキビ刈りは、昔ながらの手作業で行いました。その際に、少しでも刈り取りが楽になるよう、沖永良部の方が二股鎌を開発して下さった話を伺いました。2日目は黒糖づくりです。サタ車が設置され、キビ絞りを体験しました。サタ車を使ったキビ絞りにも先人の知恵がたくさん詰まっていました。そして、釜でキビ汁を煮詰めていきます。煮詰める作業の後、子供たちが一生懸命かき混ぜて黒糖ができあがります。丁寧にあくを取りながら煮詰める作業も、素早くかき混ぜる作業も、地域の方々の御指導があってこそ上手に進めることができました。1年に1回の体験ですが、この1回の体験活動の貴重さを痛感します。このような大がかりな体験活動を毎年毎年受け継ぎ、続けてきた大城小学校を支える地域の皆様や保護者の皆様にあらためて感謝申し上げます。

黒糖づくりや米づくりなどを昔ながらの方法で体験することで、子供たちは目に見えない多くのものを得ていると思います。このような大変な活動を体験するからこそ、「負けじ魂」の精神が育まれ、健全な子供たちの育成につながっていることを強く感じました。

これから、ますます児童数が減少していきますが、地域の皆様や保護者の皆様の御協力をいただきながら、祖先の知恵を受け継ぐ活動を継続していきたいと考えています。

しばらくしますと、来年度の「大城小もりあげ隊」の募集が始まります。これまでも多くの皆様に御協力をいただいておりますが、来年度もさらに多くの皆様の御協力をいただけたら幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。来年度は、月1回、朝の時間に花育活動をしたり、5月と12月に「大城クリーン作戦」と題して、地域のゴミ拾いをしたりする予定です。事前に御案内いたしますので、子供たちと一緒に楽しみながら御参加いただけたらと思っています。

令和6年度も残すところ1ヶ月あまりとなりました。30名の子供たちが心身ともに元気に今年度のまとめができるよう、見守っていききたいと思います。

今年もおいしい黒糖ができました



大城小学校恒例のキビ刈りを1月22日（水）、黒糖づくりを23日（木）に行いました。キビ刈りは、5・6年保護者、PTA事業部、大城小学校もりあげ隊の方々に協力をいただきました。背丈よりも大きく育ったキビでしたが、5・6年生はすぐコツをつかみ上手に刈り取っていました。

翌日の黒糖づくりにも、朝早くから、保護者やもりあげ隊の方々にご協力をいただきました。山下幸秀さんや柳川敏文さんから御指導いただき、今年も美味しい黒糖ができました。たくさんの方々のみなさまのご協力で、年1回の貴重な体験活動を無事に終了することができました。心から御礼を申し上げます。ありがとうございました。

できあがった黒糖は、学校行事等の機会を使って地域の方々のみなさまにも味わっていただけたらと考えています。

【子どもたちの感想】（日記より）

「黒糖づくり」6年：谷山 あかり

黒糖づくりで大変だったのは「あく」取りです。熱くてけむりで前が見えにくい中、あくを取るのはむずかしかったです。でも、あくをうまく取れたので、おいしい黒糖を作ることができました。最後の黒糖づくりでしたが楽しくできてとても良かったです。

「黒糖づくり」6年：皆吉 結心

6回目の黒糖づくりでしたが、黒糖をまぜるのが重くて大変でした。でもその後は出来上がった黒糖を食べてすごくおいしかったです。最後の黒糖づくりだったけどすごく楽しかったです。

「黒糖づくり」5年：玉井 瑠香

黒糖づくりで私はたくさんの経験をしました。始めにサタ車を回したりキビを入れたりしたことです。かたくて回すことがむずかしかったけれど、力を入れて回しうでが痛くなりました。次にあく取りをしました。サタ車から流れてくる汁のあく取りは初めてでしたが、うまくできました。最後にサタ小屋の中でまぜたり、ねったりしました。甘い黒糖ができて、とてもうれしかったです。みんなで協力してすることができよかったです。

